科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX130／現代アメリカ経済史 (Economic History of Modern America)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	海外市場の開拓		
担当者名 (Instructor)	水野　里香(MIZUNO RIKA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX3710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

世界経済や国際政治の場で影響力を行使するような現代のアメリカが、いかにして形成されたのかを、経済史の視点から理解する。

授業で取り上げた個別の事項について説明できるようになることに加え、その発生要因と結果および影響について理解することを通じて、現代の経済社会にたいする考察を深める。

Understand from a historical perspective how today's America became a country that exercises influence over the world economy and international politics.
In addition to students becoming able to explain the individual matters raised during the lecture, by understanding the factors behind that formation and their results and impact they will gain the ability to deeply consider contemporary economic society.

授業の内容(Course Contents)

第1次世界大戦を経て、国際社会に加わり、そこで次第に中心的な役割を担うようになってゆくアメリカが、経済的にも政治的にも国外への関わりを深めてゆく現代までの期間に焦点をあて、その間にみられた経済的事象を中心に取り上げて、アメリカ経済の発展過程について解説する。

This course focuses on America during the period from World War I, the joining of international society, and as it gradually came to play a central role in the world until today where the country has deepened its foreign involvement both economically and politically while looking at mainly the economic phenomena that occurred during that time to explain the development process of the American Economy.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 第1次世界大戦とアメリカ
3. 世界大恐慌前夜の経済状況
4. 世界大恐慌直後の対応
5. ニューディール政策
6. 第2次世界大戦期のアメリカ経済
7. 第2次世界大戦後の国際秩序
8. IMF・GATT 体制の構築
9. ニューフロンティア
10. 産業の衰退
11. 新自由主義の到来
12. ニューエコノミー
13. グローバリゼーション
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

予習:各回授業の終わりに次週に取り上げる内容の簡単な説明をするので、次週のテーマや対象となる年代に関して、参考文献や高校までの世界史のテキスト等によって確認(復習)しておくことが望ましい。

復習:授業内で学んだ事柄を、自身の言葉で説明できるようにする。同時に、理解が不十分な箇所については、下記に掲げた参考文献等を用いて確認する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/各授業内で課す簡単な記述問題や小問(30%)

テキスト(Textbooks)

とくに使用しません。

参考文献（Readings）

1. 岡田泰男、2000、『アメリカ経済史』、慶應義塾大学出版会
2. 藤瀬浩司、2004、『新訂欧米経済史』、放送大学出版会
3. 萩原新次郎・中本悟、2005、『現代アメリカ経済』、日本評論社
4. 中本悟・宮﨑礼二、2013、『現代アメリカ経済分析』、日本評論社
5. 渡辺靖編、2014、『現代アメリカ』、新曜社
6. 谷口明丈・須藤功編、2017、『現代アメリカ経済史』、有斐閣
7. 坂出健・秋元英一・加藤一誠　編、2019、『入門　アメリカ経済 Q&A100』、中央経済社

その他の文献については、適宜授業内で必要に応じて紹介します。

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

講義の進捗状況により、授業計画に変更や修正が生じる可能性があります。

注意事項（Notice）